

東邦大学創立60周年記念学術振興基金・特別講演

演題：原子核からクォークへ - 物質とは何か？

講師：佐々木 千尋 (ヴロツワフ大学(ポーランド))



◆日時：平成28年7月6日(水) 13時～

◆会場：東邦大学 習志野メディアセンター マルチメディアスタジオ

◆主催：東邦大学理学部物理学科 素粒子物理学教室
東邦大学創立60周年記念学術振興基金

◆参加費：無料

内容

我々の身のまわりにある物質は、ビッグバン以降の宇宙の時間発展と共に様々な過程を経て生成されました。

「宇宙初期の高温状態や中性子星内部の高密度状態は、どのような物性を示すのでしょうか？」

「これら極限状態の物質は、どのようなメカニズムで形成されるのでしょうか？」

これらの疑問に答えることが、現代高エネルギー物理学の中心的な課題なのです。原子核を構成する陽子や中性子は、宇宙初期には形成されておらず、そこでは更に小さな要素、クォークとグルーオン、のプラズマ状態として存在したと考えられています。また中性子星内部では、高密度のクォークからなる物質形態も示唆されています。これら高温・相密度クォーク物質は、相転移を経て核子から成る通常物質(ハドロン)へ変化します。

このセミナーでは、現在の物質観とクォーク-ハドロンの物性を概観し、今後の課題と展望を紹介いたします。奮ってご参加ください。

【アクセス】

東邦大学周辺図



【案合図】



- A テニスコート
- B サッカー・ラグビー場
- C スポーツアリーナ (体育館)
- D 野球場
- E 薬木園
- F 学生部室1号館
- G 学生部室2号館
- H メディカルハープガーデン
- I 習志野メディアセンター (図書館・マルチメディアスタジオ)
- J 薬用植物見本園(薬草園)
- K 学生食堂(PAL)
- L 学生ラウンジ
- M 東邦会館 (キャリアセンター・マルチメディアラウンジ)
- N 薬学部A館
- O 薬学部B館
- P 薬学部C館
- Q 薬学部E館
- R 薬学部D館(新校舎)
- S 理学部1号館
- T 理学部2号館
- U 理学部3号館
- V 理学部4号館
- W 理学部5号館

◆問い合わせ先 東邦大学理学部物理学科 素粒子物理学教室 小川 了まで

ogawa@ph.sci.toho-u.ac.jp

健康科学部
× 新校舎(2016年完成予定)